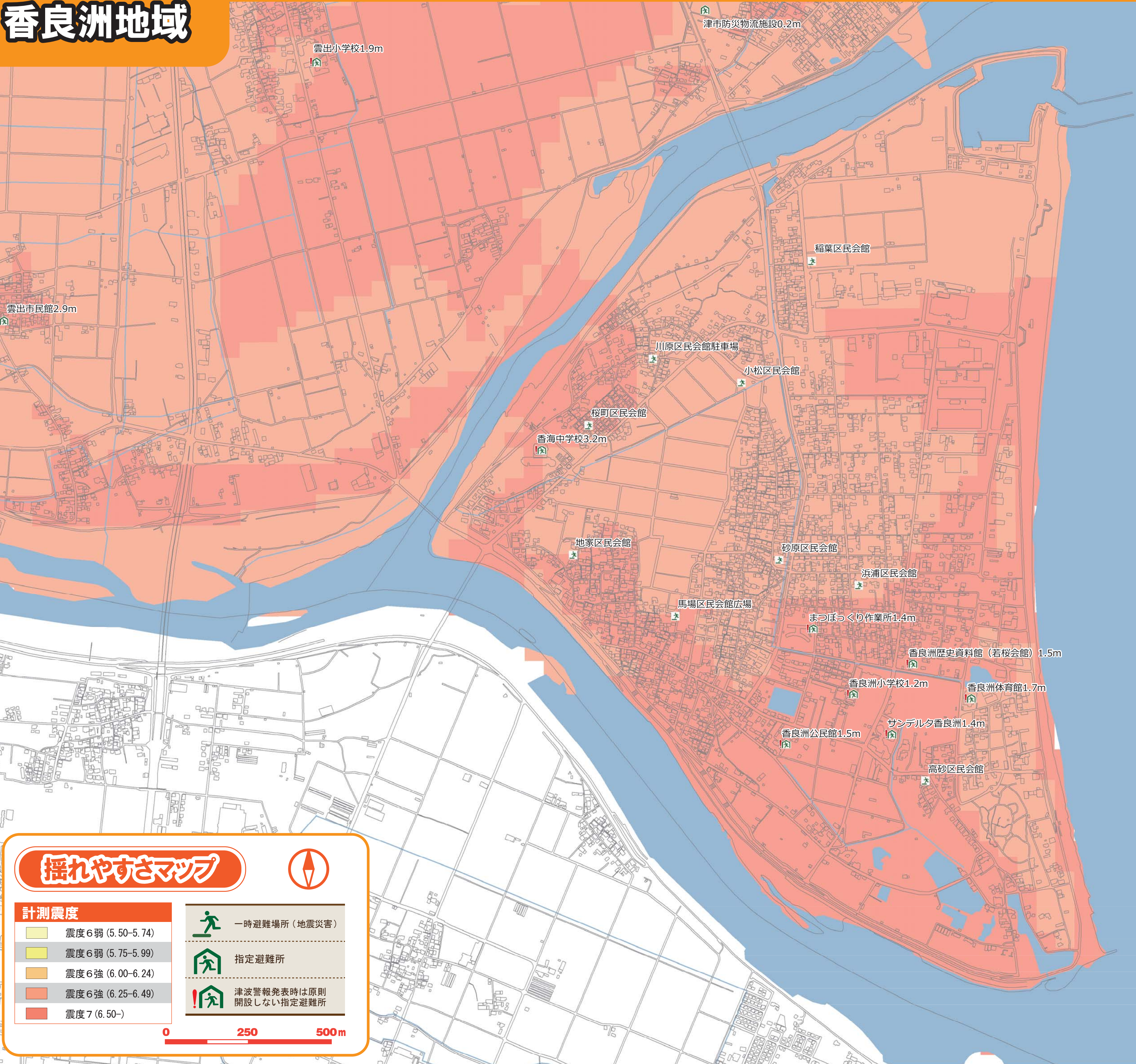


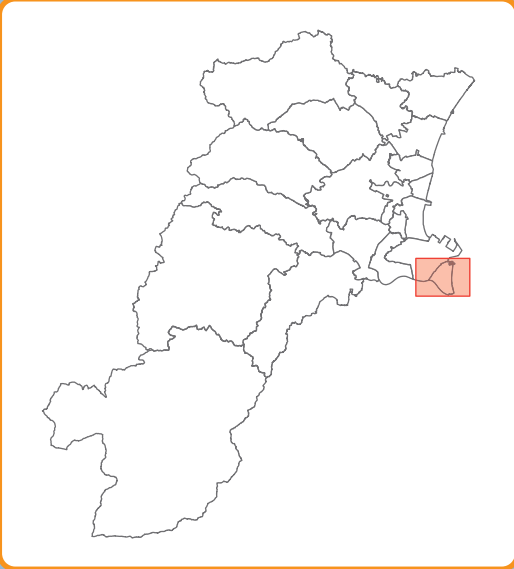
香良洲地域



南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。
下表には市全域、地域別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。

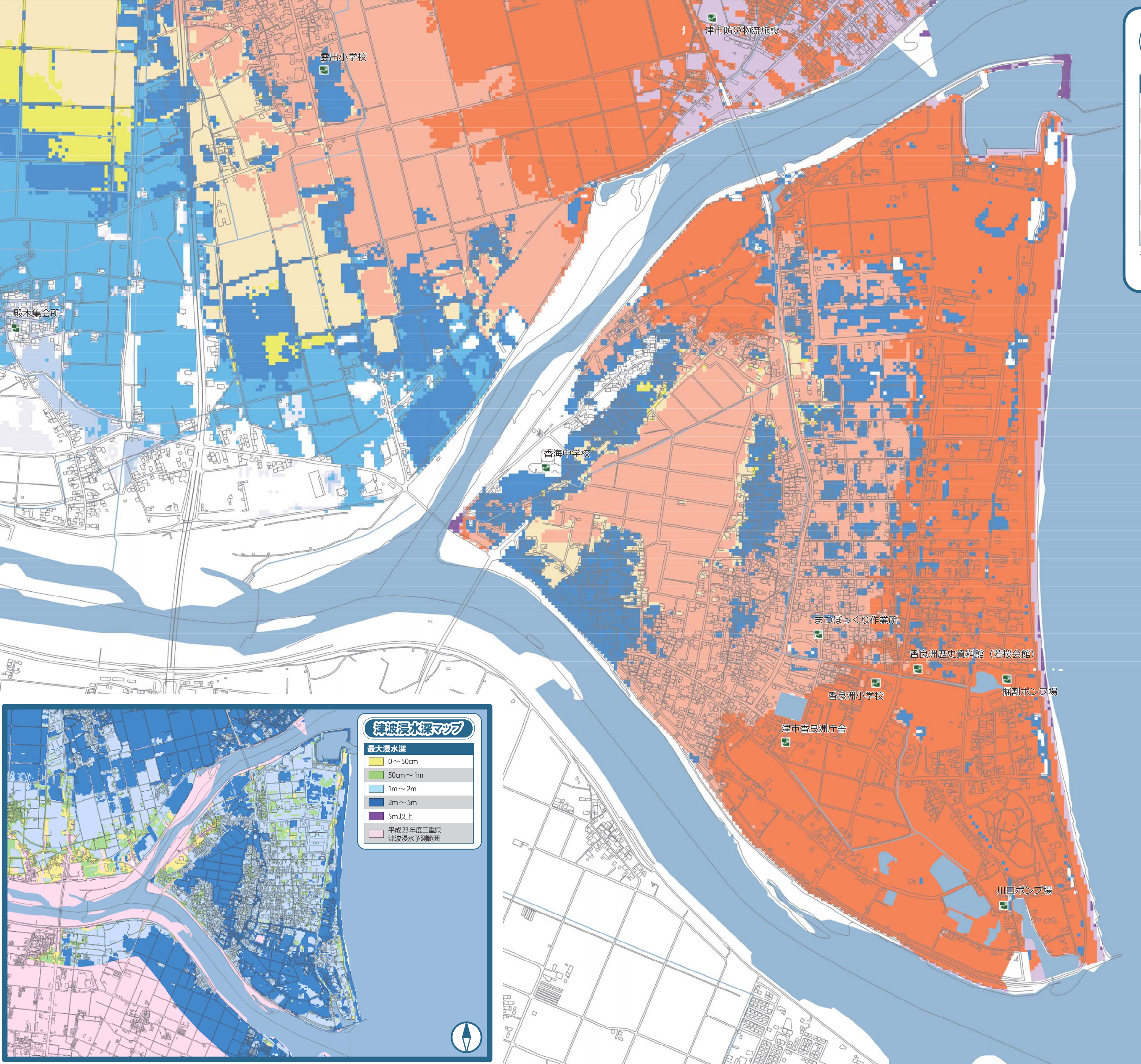
想定項目	香良洲地域	津市全域
最大震度	震度 7	震度 7
液状化危険度	極めて高い	極めて高い
建物被害 全壊棟数	揺れ	1,260棟
	液状化	47棟
	土砂災害	0棟
	津波	527棟
	計	1,835棟
火災被害	総出火件数	2件
	焼失棟数	129棟
	死者数	152人
	負傷者数	401人
人的被害	重傷者数	139人
	要救助者数	2人
	避難者数	4,835人
ライフライン 支障	上水道(断水人口)	4,885人
	下水道(支障人口)	446人
	電力(停電軒数)	2,719軒
	通信(不通回線数)	1,216回線
	ガス(支障戸数)	118戸



揺れやすさマップ

計測震度	一時避難場所(地震災害)
震度 6 弱 (5.50-5.74)	一時避難場所(地震災害)
震度 6 弱 (5.75-5.99)	指定避難所
震度 6 強 (6.00-6.24)	津波警報発表時は原則 開設しない指定避難所
震度 6 強 (6.25-6.49)	
震度 7 (6.50-)	

0 250 500m



津波浸水時間マップ
[30cm津波浸水時間]

浸水深が30cmに到達する時間
地震発生～5分
6～60分
61～75分
76～90分
91～115分
116～130分
131～145分
146～160分
161～175分
176分～

津波避難ビル

津波避難ビルとは、津波から避難する際に、逃げ遅れた人など、どうしても速くまで避難できない人に少しでも安全な高い場所を確保するためあらかじめ指定した建物です。

津波避難協力ビル

津波避難協力ビルとは、津波避難ビルと同様に少しでも安全な高い場所を確保するためあらかじめ指定した建物です。所有主や管理者が指定した日及び時間により避難できる建物です。

時間ごとの浸水の要因

5分 1時間 12時間

地盤等からの浸水 地盤沈下に伴う浸水 津波到達による浸水

※津波の最大浸水深が30cm未満の場所は着色されていません。

津波避難の
ところえ

少しでも遠く、
高いところに逃げる。

- 「避難は徒歩が原則」
車庫の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるので、歩いて避難しましょう。
- 「想定にとらわれない」
想定以上の災害が起こることもあります。想定にとらわれず、その時の状況を見極めることが大切です。
- 「率先して避難する」
勇気を出して率先して避難すれば、その姿をみて周りの人も避難するようになり、多くの人命を救うことができます。
- 「最善を尽くす」
自分は大丈夫、ここまでは大丈夫ではなく、その時できる最善の行動をとしましょう。
- 「地域での協力が大切」
お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて、一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。
- 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってきます。避難するときは、河川から離れる方向に避難をしましょう。
- 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても速くまで避難できない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。